



きれいな学校 輝く笑顔 ~J(授業)A(挨拶)S(清掃)MI(身だしなみ)N(仲間)~

大久保中だより

〒338-0815 さいたま市桜区五関282

Tel 048-852-3554 Fax 048-840-1430

Mail Address : okubo-j@saitama-city.ed.jp

武士道に触れた日々
~平成のサムライたちよ、永遠に！~

校長 澤田 純一

寒さが一段と厳しさを増してきました。1月には雪も降り、本格的な冬が始まりました。逆に、日は長くなり、太陽にも力強さを感じられます。春に向けて一步一步近づいていることを嬉しく思います。

さて、今回は、世界のさまざまな国と、そこで生活している人々の考え方を紹介します。各国には長い時間をかけて作られた風習や習慣など、その国独自に作られた伝統文化があり、それがその国の人たちの心の支え（アイデンティティー）になっています。例えばイギリス人の心には「ジェントルマンシップ」が存在しています。イギリスは貴族制度があります。一般庶民は貴族にあこがれ、貴族文化を真似します。このように一般庶民が貴族にあこがれ生み出した「イギリス人は紳士淑女たれ」というダンディズムが「ジェントルマンシップ」です。また、アメリカ人の心には「フロンティアスピリット」が根付いています。15世紀にアメリカ大陸が発見され、未知の土地を開拓してきたところから、開拓者精神が生まれました。これは「どのような困難にも立ち向かい、打ち勝つ」という精神です。そしてドイツ人は「ジャーマンスピリット」をもっています。これは、善いことには賛同し、悪いことは改革するという伝統です。フランス人にフランス人とは？と聞くと「フランス人は良識を持ち、自国の文化や伝統に理解と誇りをもっています。」と答えます。

ところで、我が国の人々の心に流れているものとは何でしょうか。人によって考え方は異なると思いますが、私は幼少のころから剣道を習っていたこともあり、それは「武士道」だと考えています。具体的には、弱い者をいじめない、卑怯なことはしない、一時流行った「おもてなし」という他者を思いやる言葉も入るかもしれません。

2学期の終わりから3学期の初めにかけて、3年生と校長面接を行いました。受験を控えた生徒一人ひとりと面接を行いました。その中で、「将来の夢はなんですか。」と全員に質問しました。Aさんは「建築家になりたいです。」理由を尋ねると「今住んでいる家が小さいので、母に大きな家を建ててあげたいからです。」とっていました。Bさんは「医者になりたいです。」同じく理由を聞くと、「アフリカに行き、医療を受けられずに困っている人を救いたいからです。」とっていました。Cさんは「プロ野球選手になりたいです。」とっていました。契約金は何に使いますか？と少々意地悪な質問をすると「親にプレゼントします。」と堂々と言い放ちました。それぞれの答えに、「うーん。これなら日本の将来は大丈夫！」と私を納得させるに十分な答えでした。自分のことと同様に、親や他者を大切にする。自分の幸せをつかむべく努力をしながら、周囲の幸福を願う。さすが、中3ともなると考えがしっかりしていますね。皆さんが意識し行動に移そうとしている「親孝行と弱き者を助けること」これは武士道の根幹です。

皆さんが平成のサムライとすれば私は昭和のサムライです。正しく美しく生き抜いてみたいものです。皆さんの面接時の真剣な表情、そして、言葉を永遠に忘れません。